

2024年7月29日  
トップマネジメント研修

# 東大病院における 働き方改革への取 組について

東京大学医学部附属病院  
病院長 田中 栄



# 目次

- 概要
- 取組状況
- 推進体制
- 労働時間の把握
- 特例水準の適用
- 追加的健康確保措置の適用
- 勤務間インターバル・代償休息
- 面接指導・就業上の措置
- 勤務区分の整備
- タスクシフト・タスクシェアの推進
- まとめ



## 東大病院の理念

当院は臨床医学の発展と医療人の育成に努め、個々の患者に最適な医療を提供する

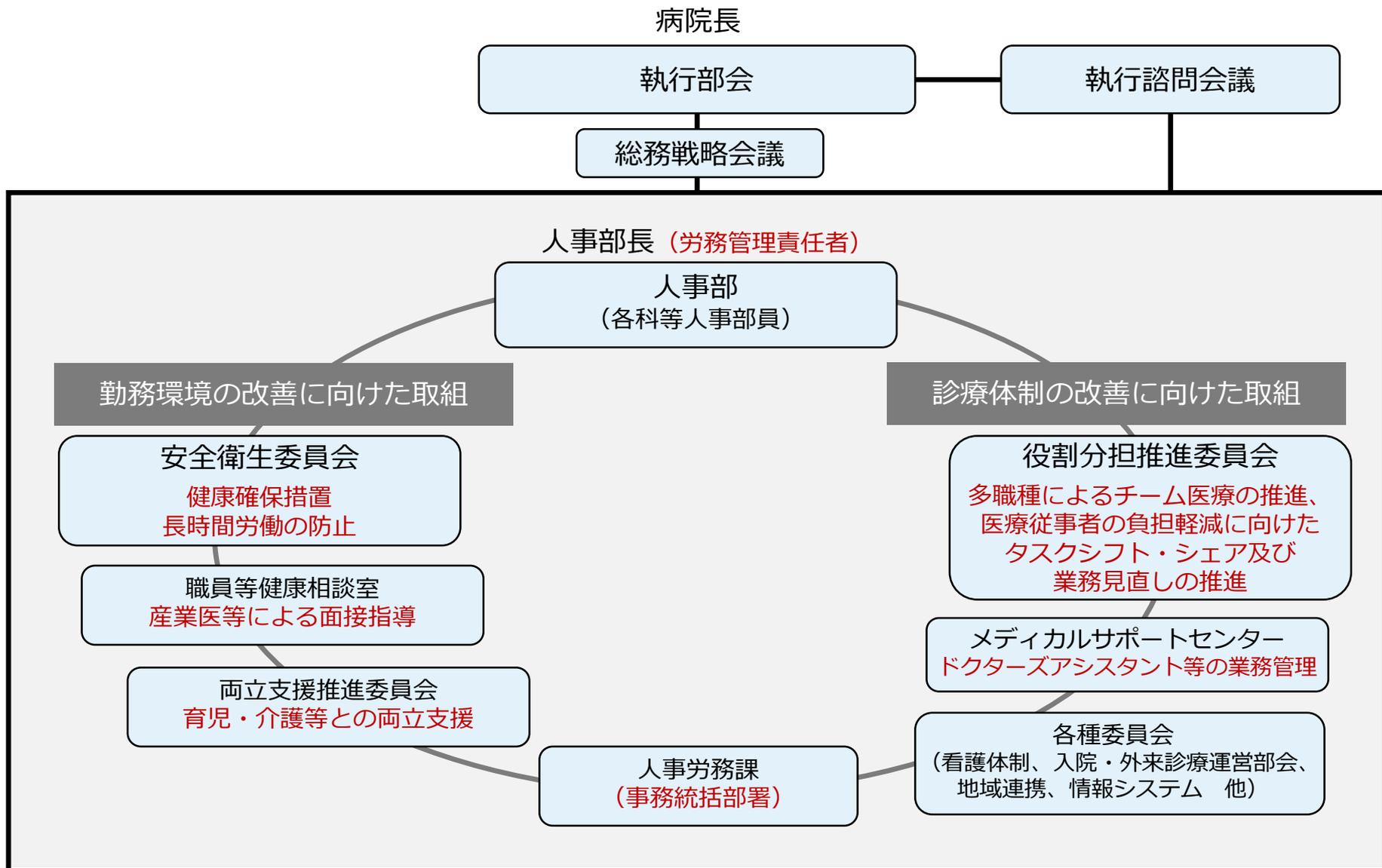
- ①患者の意思を尊重する医療の実践、②安全な医療の提供、
- ③先端的医療の開発、④優れた医療人の育成

|                 |   |
|-----------------|---|
| 病院長             | 田中 栄  |
| 病床数<br>(R6.7.3) | 1,218床（一般病床：1,157床、精神病床：40床、保険外病床：21床）  |
| 患者数等<br>(R5)    | 外来：延べ645,540人（1日平均：2,646人）、入院：延べ323,467人（1日平均：884人）、新入院患者数：27,436人、平均在院日数：一般11.0日、精神32.4日               |
| 職員数<br>(R6.4.1) | 4,342名（R6.4.1現在、短時間有期雇用職員等を含む。）<br>（医師（含研修医、歯科医師）：1,716人、教員・研究員等：63人、看護職：1,415人、医療技術職員：434人、事務職員等：714人） |
| 経営状況<br>(R5)    | 診療報酬請求額：519億3200万円（入院：347億6900万円、外来：171億6300万円）、入院診療単価：107,488円、外来診療単価：26,587円                          |
| 備考              | 特定機能病院、臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院 等に認定  |

# 取組状況

| 項目        | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度   | 2023年度  | 2024.4.1～ |
|-----------|---|---|--|---|-----------|
| 特例水準適用    |   | ・労働時間短縮計画の検討・策定   | ・評価センター提出(2023.3)  | ・評価センターから評価結果通知(2023.6)<br>・東京都へ指定申請(2023.7)<br>・東京都から指定結果通知(2023.11) | 特例水準適用開始  |
| 時期(月)     | 4 7 10 1 3  | 4 7 10 1 3  | 4 7 10 1 3   | 4 7 10 1 3  | 4         |
| 労務管理体制の構築 | ◎36協定の見直し(2020.4)<br>◎勤怠管理システムの導入(2020.9)<br>◎自己研鑽取扱い指針の制定(2020.10)<br>◎宿日直の実態検証・是正(2021.2) | ◎勤怠管理システムによる兼業時間の通算管理(2021.12)<br>◎非常勤医師の兼業届出制(2021.12) | ◎連続勤務時間制限、勤務間インターバルの運用策定(2022.11)                            | ◎勤務計画の計画的作成の周知(2024.1)  |           |
| 健康確保措置の徹底 |   | ◎長時間労働防止・健康確保等の徹底の取組(2021.9)                            | ◎兼業時間を通算した長時間労働者への面接指導実施要領の制定(2022.4)<br>◎代償休息の運用策定(2022.11) |   |           |
| 労働時間短縮の取組 | ◎役割分担推進委員会の見直し(2020.10)<br>◎メディカルサポートセンター設置(2020.10)  | ◎特定行為研修修了看護師の配置(2021.12)<br>◎タスクシフト推進のアンケート調査(2021.12)  | ◎働き方改革セミナー(2023.1)   | ◎管理職層向け研修(2023.10)<br>◎特例水準適用医師向け研修(2024.1)<br>◎全医師を対象とした説明会(2024.1)  |           |

# 推進体制



## ■ 出退勤打刻方法

【Dr.JOY】 スマホのアプリでの打刻



【Dr.JOY】 PCのWEBマイページでの打刻



カードリーダー 打刻



東大ポータルサイト WEB打刻



※院内ポータルサイトから実行可能

# 特例水準の適用

| 区分    | 本院の対象                       | 特例水準の概要                                | 年の上限時間                        | 兼業の管理方法        |
|-------|-----------------------------|--|-------------------------------|----------------|
| A水準   | ・臨床研修医 ※                    | すべての勤務医に対して、原則的に適用される水準                | 960時間以内                       | ・臨床研修医は兼業禁止    |
| 連携B水準 | ・非常勤医師（特任臨床医、専攻研修医、病院診療医） ※ | 地域医療の確保のため、本務以外の副業・兼業として派遣される際に適用される水準 | 本院 960時間以内<br>・兼業先通算1,860時間以内 | ・「届出制」、システムで管理 |
| B水準   | —                           | 地域医療の確保のため、自院内で長時間労働が必要な場合に適用される水準     | 1,860時間以内                     |                |
| C-1水準 | —                           | 臨床研修医／専攻医の研修のために長時間労働が必要な場合に適用される水準    | 1,860時間以内                     |                |
| C-2水準 | —                           | 専攻医を卒業した医師の技能研修のために長時間労働が必要な場合に適用される水準 | 1,860時間以内                     |                |

※歯科医師は除く

注：裁量労働制が適用される常勤医師は、特例水準ではなく「一般則」が適用されています。また、常勤教職員の兼業は「許可制」となっています。

# 追加的健康確保措置の適用

| 区 分                                 | 追加的健康確保措置の内容    |              |
|-------------------------------------|-----------------|--------------|
|                                     | ①勤務間インターバル・代償休息 | ②面接指導、就業上の措置 |
| 臨床研修医【A水準】                          | 対 象 ※           | 対 象          |
| 非常勤医師（特任臨床医・専攻研修医・<br>病院診療医）【連携B水準】 | 対 象             | 対 象          |

※ 法令上は努力義務ですが、当院では連携B水準適用医師と同様に対象としています。

# 勤務間インターバル・代償休息

## ■ 勤務間インターバル・代償休息の運用ルール

| 区 分       | 内 容  |
|-----------|--|
| 勤務間インターバル | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 通常の日勤・宿日直許可のある宿日直に従事する場合<br/>始業から24時間以内に9時間の連続した休息時間を確保（15時間の連続勤務時間制限）</li></ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 宿日直許可のない宿日直に従事する場合<br/>始業から46時間以内に18時間の連続した休息時間を確保（28時間の連続勤務時間制限）</li></ul>   |
| 代償休息      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 各診療科等において、兼業先の勤務時間及び宿日直許可の有無を踏まえて勤務間インターバルが確保された適切な勤務計画を作成</li><li>・ その上で、勤務間インターバルとして予定された9時間又は18時間の連続した休息時間中に外来患者及び入院患者に関する緊急の業務に従事した場合、当該業務が発生した日以後の日において、当該業務に従事した時間に相当する時間の代償休息（30分単位）を、次に定める順（原則）に翌月末までに確保</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>① 緊急の業務に従事した直後の勤務の開始時間を繰り下げる（勤務間インターバルの延長）。</li><li>② 所定の勤務時間内に代償休息を確保し、当該時間は勤務したものとみなす。</li><li>③ 9時間又は18時間を超えた休息時間を確保し、当該超えた時間を代償休息として充当する。</li></ul> |

# 面接指導・就業上の措置

## ■ 面接指導・就業上の措置の運用ルール

| 面接指導対象医師の要件  | 実施手続  |
|--|---|
| <p>本院と兼業先における労働時間を通算して法定労働を超える労働時間及び法定休日における労働時間（以下「時間外労働等時間」と言います。）が1か月に100時間以上となることが見込まれる次のいずれかに該当する者</p> <p>時間外労働等時間が</p> <p><u>（1）95時間を超える者</u></p> <p><u>（2）80時間を超える者のうち、前月における時間外労働等時間が100時間以上である者</u></p> | <ol style="list-style-type: none"><li>①事務部門において面接指導対象医師を抽出</li><li>②事務部門から面接指導対象医師へ疲労蓄積度チェックリスト、睡眠状況調査票、希望調査票の提出を依頼し、診療科（部）等の長へ情報共有</li><li>③事務部門は②で得た情報を面接指導実施医師（産業医）に対し提供</li><li>④面接指導の実施及び報告書・意見書の作成</li><li>⑤副院長（人事労務担当）は必要に応じて診療科（部）等の長へ就業上の措置を要請</li><li>⑥安全衛生委員会で面接指導実施状況を踏まえ方策等を検討</li></ol> |

# 勤務区分の整備

## 【臨床研修医、特任臨床医、専攻研修医の勤務パターンの例】

| 勤務態様 | 勤務時間        | 休憩時間        |
|------|-------------|-------------|
| A勤務  | 8:30~17:15  | 12:00~13:00 |
| B勤務  | 13:00~21:45 | 17:00~18:00 |
| C勤務  | 8:00~12:45  | 11:00~12:00 |
|      | 18:00~22:00 |             |
| D勤務  | 15:00~8:30  | 20:00~21:00 |
|      |             | 23:00~00:00 |
| E勤務  | 17:00~1:45  | 23:00~00:00 |
| F勤務  | 23:45~8:30  | 4:00~5:00   |
| G勤務  | 22:00~6:45  | 2:00~3:00   |
| H勤務  | 8:00~21:00  | 12:00~12:45 |
|      |             | 16:00~16:30 |
| I勤務  | 20:00~9:00  | 0:00~0:30   |
|      |             | 5:00~5:45   |
| K勤務  | 12:30~21:15 | 17:00~18:00 |
| L勤務  | 7:00~15:45  | 11:00~12:00 |
| M勤務  | 15:00~23:45 | 19:00~20:00 |
| N勤務  | 17:00~10:30 | 21:00~22:00 |
|      |             | 3:00~4:00   |



## ■改正後

| 勤務区分             | 勤務時間        | 休憩時間        |
|------------------|-------------|-------------|
| A勤務<br>(7時間45分)  | 7:00~15:45  | 11:00~12:00 |
|                  | 7:30~16:15  | 11:30~12:30 |
|                  | 8:00~16:45  | 12:00~13:00 |
|                  | 8:30~17:15  | 12:00~13:00 |
|                  | 9:00~17:45  | 12:00~13:00 |
|                  | 9:30~18:15  | 12:30~13:30 |
|                  | 12:30~21:15 | 17:00~18:00 |
|                  | 13:00~21:45 | 17:00~18:00 |
|                  | 13:30~22:15 | 17:30~18:30 |
|                  | 14:00~22:45 | 18:00~19:00 |
|                  | 14:30~23:15 | 18:30~19:30 |
|                  | 15:00~23:45 | 19:00~20:00 |
|                  | 17:00~1:45  | 23:00~00:00 |
|                  | 22:00~6:45  | 2:00~3:00   |
| B勤務<br>(11時間45分) | 7:00~20:00  | 11:00~11:45 |
|                  |             | 15:00~15:30 |
|                  | 7:30~20:30  | 11:30~12:15 |
|                  |             | 15:30~16:00 |
|                  | 8:00~21:00  | 12:00~12:45 |
|                  |             | 16:00~16:30 |
|                  | 8:30~21:30  | 12:30~13:15 |
|                  | 16:30~17:00 |             |
| C勤務<br>(15時間30分) | 20:00~9:00  | 0:00~0:30   |
|                  |             | 5:00~5:45   |
|                  | 15:00~8:30  | 20:00~21:00 |
|                  |             | 23:00~00:00 |
|                  | 17:00~10:30 | 21:00~22:00 |
|                  |             | 3:00~4:00   |
|                  | 19:30~13:00 | 23:30~0:30  |
|                  | 5:30~6:30   |             |

# 勤務区分の整備

## ■改正後（続き）

| 勤務区分            | 勤務時間        | 休憩時間 |
|-----------------|-------------|------|
| D勤務<br>(3時間45分) | 7:00~10:45  | -    |
|                 | 7:30~11:15  | -    |
|                 | 8:00~11:45  | -    |
|                 | 8:15~12:00  | -    |
|                 | 8:30~12:15  | -    |
|                 | 9:00~12:45  | -    |
|                 | 13:00~16:45 | -    |
|                 | 13:15~17:00 | -    |
|                 | 13:30~17:15 | -    |
|                 | 14:00~17:45 | -    |
|                 | 14:30~18:15 | -    |
| E勤務<br>(4時間)    | 7:00~11:00  | -    |
|                 | 7:30~11:30  | -    |
|                 | 8:00~12:00  | -    |
|                 | 8:15~12:15  | -    |
|                 | 8:30~12:30  | -    |
|                 | 9:00~13:00  | -    |
|                 | 13:00~17:00 | -    |
|                 | 13:15~17:15 | -    |
|                 | 13:30~17:30 | -    |
|                 | 14:00~18:00 | -    |
|                 | 14:30~18:30 | -    |
| F勤務<br>(7時間45分) | 7:00~10:45  | -    |
|                 | 18:00~22:00 | -    |
|                 | 7:30~11:15  | -    |
|                 | 18:00~22:00 | -    |
|                 | 8:00~11:45  | -    |
|                 | 18:00~22:00 | -    |
|                 | 8:30~12:15  | -    |
| 18:00~22:00     | -           |      |

# タスクシフト・タスクシェアの推進

| 事 項            | 内 容  |
|----------------|--|
| 役割分担推進委員会の運営   | <ul style="list-style-type: none"><li>・「役割分担推進委員会」の運営体制を見直し、<b>多職種によるチーム医療の推進と医療従事者の負担軽減・処遇改善を任務とするよう役割を明確化</b></li><li>・2020年度診療報酬改定により「多職種からなる役割分担推進のための委員会」に管理者の年1回以上の出席が必須となったことから、委員として病院長を追加</li></ul> |
| 医師事務作業補助等体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"><li>・医師から医師事務作業補助者その他の職種へのタスクシフトの推進を担う<b>メディカルサポートセンターを設置</b>し、組織運営体制を整備</li><li>・代行入力等を含めたタスクシフト・タスクシェアの具体的取組を検討</li><li>・人員確保及び経験や能力により給与を設定できるよう処遇の見直しを実施</li></ul>     |
| 特定行為研修修了看護師の活用 | <ul style="list-style-type: none"><li>・役割分担推進委員会の下に、「特定行為研修修了者の活用に関するWG」を設置し、手順書・規程等の整備、配置・処遇等を検討</li><li>・特定行為研修修了看護師を「<b>特定看護師</b>」（本院の呼称）として認定し、<b>2021年12月1日から特定行為を開始</b></li></ul>                      |

- 医師の働き方改革を契機として、労務管理の徹底や労働時間短縮のためのマネジメント改革を行い、勤務環境をいかに改善するかが重要
- ⇒ 過重労働による健康障害の防止は言うまでもなく、仕事と家庭の両立や女性医師の増加等、働き方への意識の変化や社会情勢の変化への対応
- ⇒ 医師の診療科偏在等の問題が解消され、人材の多様化が高まることにより、先進的な医療の発展等につながる可能性
- ⇒ 大学病院としては、医師の働き方改革を推進し引き続き診療、教育、研究の3つのミッションを遂行し、なおかつ地域医療の支援を継続